

子どもの自立・就職に向けて
親ができることを一緒に考えてみませんか？

参加無料

～保護者セミナー～

開催日時

令和元年

6月15日(土)

時間：10:00～12:00

会場：福井県社会福祉センター(福井市光陽2-3-22)



講師：心理相談室アシスト

代表・臨床心理士 岡本 克己 氏

テーマ：「世間話なら乗ってくるけど、将来の話になると部屋に籠ってしまう。どうしたものか・・・？」

===3カ月で何とかしたい。=== ③タイミングよく相談機関につなごう

内容：講師によるセミナー・意見交換ほか

対象：就職や仕事に悩みのあるお子さんを持つご家族の方

定員：20名(事前にサポステふくいまで申し込み下さい)

※このセミナーは3回シリーズで、今回は3回目となります。

【講師紹介】

現在、心理相談室アシストを開設し、心理カウンセリングを行っています。

個人療法中心から集団療法の併用への移行、認知行動療法や動機づけ面接法、ひきこもり家族支援 CRAFT などスキルを積極的に取り入れた支援を展開され、相談者の症状改善に関わっています。



日時：平成31年4月20日(土) **4月開催のセミナーレポート**

テーマ：「世間話なら乗ってくるけど、将来の話になると部屋に籠ってしまう。どうしたものか・・・？===3カ月で何とかしたい。===」①ご本人をよく知ろう

講師：心理相談室アシスト 代表・臨床心理士 岡本 克己 氏

保護者の相談に、「サポステに本人を任せたいけれど、そこがうまくいきません」という声をよく伺います。普段の会話はできるけれども、肝心な話になるとご本人と話ができていない保護者の方に、4か月目にはどこか支援機関につながることを念頭に、岡本先生から3回シリーズでお話を頂きます。

☞3ヶ月で支援機関につなぐための基本方針：ご本人を支援機関につなげるために、保護者に何が必要かを考えてみます。基本方針は次の5つです。①今できていることを大切にする ②前向きな言動を見分けて、それが増えるように関わる ③一歩一歩進める ④家族の思いを伝えることと、ご本人の思いを聞くことを明確に意識する ⑤タイミング良くつなぐ、です。

☞この1か月に実践してみましょう：今、できていることはたくさんあって、それを認めることがこれからの基盤になってきます。保護者は、ご本人の行動について、嬉しかったと具体的に言葉にしたり、意図的に感謝の気持ちを伝えたりすることで、普段、言わない保護者からそんな言葉を聞いた本人は、「おや？いつもと違うな」とご本人にも変化が出てくるようになります。セミナーでは各自、ご本人の好ましい言動に目を向けてもらい、好ましい言動を増やすような取り組みを提案しました。翌月はどんな報告が聞かれるか、またどんな声掛けをすると有効かを話し合うことになりました。

サポステふくいは、厚生労働省の委託事業で、福井県との協働で若年無業者の方の職業的自立支援を行っています。

ふくい若者サポートステーション (サポステふくい)

福井市光陽2丁目3-22 TEL: 0776-21-0311

(受付時間 月～金 9:00～17:00) E-mail: info@fukui-yss.com